

〈明和地区 課題対応能力の育成〉

研究主題 **自分と社会をつなぎ たくましく未来を切り拓くキャリア教育の推進**
—「課題対応能力」の高まりを見取る授業の工夫を通して—

〈研究の概要〉。

児童生徒のキャリア発達がどの程度促されたかを見取るために、各教科指導の中で「課題対応能力」の育成を視点を授業実践を行った。その結果、子どもたちの学習意欲が向上し、「現在の学習が自分の将来につながる」という考えを持ち、主体的に行動できる児童生徒の姿が多く見られるようになった。

1 主題設定の理由

とどまることなく変化する社会の中で、子どもたちが希望を持ち、自立的に自分の未来を切り拓いて生きていくためには、変化に戸惑うことなく変化に対応していく力と態度を育てることが必要である。そのためには、日常の教育活動を通して、学ぶ面白さや学びへの挑戦の意味を子どもたちに体得させることが大切になってくる。

自然体験や社会体験等の体験活動は、他者の存在の意義を認識し、社会への関心を高めたり社会とのつながりを学んだりする機会となり、将来の社会人としての基盤づくりともなる。さらに、将来、子どもたちが自立した社会人となるための基盤をつくるためには、家庭・地域が学校と連携していくことが不可欠である。子どもたちが希望をもち、自立的に自分の将来を切り拓いて生きていくためには、発達段階に応じたキャリア教育を推進していくことが重要になってくる。各教科等の指導の中で、社会的・職業的自立を促すキャリア教育の視점에立った授業展開を図ることが有効であると考えます。

以上のことから、現在の学習と自分の将来の夢の実現とのつながりを意識し、将来の社会的・職業的自立に向け、子どもたちの「課題対応能力」の育成を目指し、本主題を設定した。

2 研究のねらい

キャリア教育の評価は、教科の評価とは違い、一定の時間でねらいとする目標を達成できるものではなく、学校全体の教育活動での見取りを長い期間で結びつけていくものであると考える。各教科指導の実践を踏まえ、課題対応能力の高まりについてどのように見取っていくかについて検証し「児童生徒の意欲・態度や能力がどのように変容し、キャリア発達がどの程度促されたか」を明らかにすることが研究のねらいである。

3 実態

(1) 地域の実態

「鶴舞う形の群馬県」—明和町は、その鶴舞う形の首の方（東南端）に位置し、気候は比較的温暖で南に利根川、北に谷田川が流れる水と緑の豊かな地域です。また、東武伊勢崎線や国道122号線、東北自動車道等が走るなど交通条件にも恵まれ、東西約11km、南北3kmの細長い形をした町です。ふるさとの広場周辺を中心に、芝生広場や多目的広場・テニスコートや海洋センター・ふるさと産業文化館や図書館が整備され、人と人とのふれあいや出会い、憩いの場として、みんなに親しまれています。昨年、川俣駅の橋上駅舎も完成し、現在、工業団地を整備し、企業誘致も盛んに行われております。

(2) 児童生徒の実態

- ・相手のことを考え、よいコミュニケーションのあり方を知り、協力して行動できる。
- ・自分の長所や役割を理解し、みんなと協力して行動することができる。
- ・自ら課題を持ち、資料を活用して解決していこうとする力にやや欠けている。
- ・課題に対しての見通す力や将来を見通して行動しようとする力が不十分である。
- ・学習内容と自分の将来の夢の実現にどのようにつながるのか、理解が不十分である。

4 目指す児童生徒像

〔小学校〕 自らの課題に向かって主体的に取り組む子

低学年	自分がやるべきことがわかり、最後まで楽しく取り組むことができる子
中学年	課題を解決する方法を考えて、自分の力で課題を解決できる子
高学年	見通しを持って情報を収集し、自分の力で課題を解決できる子

〔中学校〕 情報を収集し、分析し、計画を立てたり、見直したり、改善したりできる子

5 研究の内容

- 「基礎的・汎用的能力」の4能力の観点から、各学校の教育活動の中にあるキャリア教育の断片(宝)をつなげる年間指導計画の改善
- 社会的・職業的自立を促すキャリア教育の視点に立った授業の確立
- 各教科指導において、各教科における課題対応能力を具体化し、情報活用等の能力を育てる等、課題解決型の授業展開
- 自由記述やチェックリストを用いた観察等、目的・目標に合わせた見取り
- 短期的、中長期的な変容把握のため、児童生徒の一人一人のきめ細かな成長の検証

6 研究のまとめ

(1) 成果

- キャリア教育に関する内容が話題に上るなど、教師の意識が代わりつつある。研究授業以外の普段の授業でも、グループワークやタブレットPCを活用し、「課題対応能力」の向上に努める教師が増えており、授業改善につながっている。
- 全体計画や年間指導計画を見直し、系統的に整理することにより、「基礎的・汎用的能力」を身に付ける重点単元を明らかにすることができた。また、各教科の「課題対応能力」が具体的に設定され、子どもたちの計画性、主体性が高まってきた。
- 単元構想シート等により、子どもたちは学習課題に対して課題解決への見通しを持って、計画的に進めることができるようになってきている。
- 子どもたちの学習意欲が向上し、「今の学習が自分の将来につながっていく」という意識が向上し、主体的に行動する子どもたちの姿が多く見られるようになった。
- キャリアの視点に基づいた掲示物を設置することにより、子どもたちが今と将来を結び付け、自分の将来について考える意識が高まった。

(2) 課題

- ポートフォリオ、単元構想シート、ワークシートから子どもたちの変容を見取り、全体計画、年間指導計画をPDCAサイクルで点検する。
- 学校での学習に、自分の将来との関係で学ぶことの意義が十分に見いだせていないので、発達段階を考え、教師の見取りの視点を明確にし、子どもたちに実感が持てるようなゴールの姿を設定する必要がある。
- 地域の現状や将来に対して自ら課題意識を持つまでに至っていないので、地域連携の視点から、地域の「宝の発掘」(地域人材、体験活動などの場)を更に検討し、年間指導計画に位置付けていく必要がある。
- 地域ぐるみでキャリア教育を推進していくために、各教科の実践とキャリア教育との関連性や系統性について、各学校での検証と情報共有が必要である。

《授業実践》

〈明和町立明和東小学校〉

授業者 檀原 淳子 教諭

教科 国語

単元名 「スポーツリーフレット」を作ろう（全8時間計画 本時はその6時間目）

教材名 「説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう」（光村図書4年）

〔キャリア教育との関わり〕

自分の選んだスポーツ選手のよさを3年生に伝えるために、リーフレットの文章を見直す場面でグループの友達と文章を読み合い、付箋紙を活用して自分の考えを相手に伝えたり友達の考えを取り入れたりすることは、より分かりやすい紹介文を書こうと主体的に取り組む「課題対応能力」を育成することができると思う。

○本時

(1) ねらい

友達とスポーツ選手の紹介文を読んで話し合い、書こうとすることの中心を明確にして紹介文を書くことができる。

(2) 準備 児童：写真、ワークシート 教師：掲示物、付箋紙、実物投影機

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間 (分)	指導上の留意点及び支援・評価 ◎ 努力を要する児童への支援 ◇ 評価 ☆キャリア教育の視点から見て特に重要なこと
1 本時の課題をつかむ。(全体)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい文にするためのアドバイスの視点を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 友達の考えを取り入れて、選手のよさがよりよく伝わるしょうかい文を書こう。 </div>
2 グループ内で選手紹介文を交換して読み合い、付箋紙にアドバイスを書く。(個人) ・中の段落で、何か例を挙げた方がいいと思います。 ・文章が長いので、もっと短くして、伝えたいことをはっきりさせた方がいいと思います。 ・この選手はその分野ではどのくらいすごいのですか。	12	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスのもとに、友達の紹介文のよい所や疑問点、修正点を3色の付箋紙に書いて、話し合えるようにする。 ・付箋紙一枚に一つの内容を書くようにする。 ・「初め、中、終わり」の段落構成の他に、伝えたいことの内容が明らかであるか、理由や事例の挙げ方が適切かといった、内容に踏み込んだアドバイスができるように促す。 ◎アドバイスが書きづらい児童にも、友達が書いたものを参考にしながらアドバイスできる所を見つけさせ、付箋紙に一言書かせることで、自分の考えを持たせるようにする。
3 付箋紙に書いたことをもとに、修正点を話し合う。(グループ) ・ここは○○選手が好きな気持ちが伝わってきていいね。 ・ここは分かりにくいから、例や数字を挙げてもっと詳しく書いてみたら。 ・オリンピックでの活躍のことも書いてみたらどうか。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・修正する場合は、どのように直したら良いかを相談させ、より具体的な文章表現ができるようにさせる。 ☆選手の功績や努力の過程がわかり、選手への憧れや目標としたい気持ちを盛り込んだ文章になるように助言する。 ・付箋紙に、修正する部分は下書きに赤で書き込ませる。 ・再度読み返し、アドバイスが生かされているか確認させる。 ◇【書】文章の構成を理解して、書くことの内容を明確にして書いている。(ワークシート)
4 修正した文章を発表する。(全体)	10	<ul style="list-style-type: none"> ・修正後の児童の文章を実物投影機で提示する。 ☆文章がよりよくなった児童を数名指名し、どんなアドバイスでどのように改善できたかを紹介させて、今後の学習に生かせるようにする。
5 学習を振り返り、「夢へのあしあと」に記入する。(個人) ・○○さんのアドバイスのおかげで、好きな所がちゃんと伝わるようになったと思う。 ・友達の好きな選手のすごいところが分かった。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の視点で振り返りができている児童を指名し、発表させる。 ・次時でリーフレットを仕上げることを知らせ、意欲付けを図る。

〔キャリア教育との関わり〕

単元全体の学習課題に対して、個人からグループ、全体へと互いの考えを交流し合いながら自分と異なる考え方や視点があることに気付き、そこから必要な情報を主体的に選択し、調べる手立てを考える活動は、課題に対して自ら取り組む児童の育成につながると考える。

○本時

(1) ねらい

単元の学習課題「高崎だるま作りのひみつをさぐりに行こう」に対する学習計画を立て、調べる手立てを考えることができる。

(2) 準備 掲示用写真資料・だるま・液晶テレビ・デジカメ・ワークシート・付箋紙
・学習記録カード

(3) 展開

○学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 ◎努力を要する児童への支援 ◇評価 ★キャリア教育の視点から見て特に重要なこと
○前時の学習内容を振り返り、単元の学習課題を確かめる。 ・「高崎だるま作りのひみつをさぐりに行こう」だったな。 ○掲示された写真資料を見てどんなことを調べていくのか考える。 ・何を売っているのかな。 ・季節はいつだろう。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・だるま市の写真を掲示して気付くことを自由に出させる。 ・だるま市は初市とも言い、冬の行事であることを紹介する。 ・館林の初市に行ったことがある児童から意見を引き出す。
○学習課題について調べたいことを考える。 発問：高崎だるまについて探りたいひみつにはどのようなことが考えられるでしょうか。 ①探りたいひみつを各自付箋に書き出す。 ②書き出したことをグループ内で交流する。 ○書き出されたことをグループで内容ごとに分類する。 【分類の観点】 ・自然環境(なぜ高崎市なのか) ・生産工程(どのように作られているか) ・歴史(いつから・誰が作り始めたか) ・工夫や努力(だるま作りに関わる人の) ・思いや願い(だるま作りに関わる人やだるまを買う人たちの) ○グループごとに分類された内容を全体に情報交換し合う。 ○分類ごとに調べる手立てを考える。 発問：これらのひみつを調べるにはどんな手立てがよいでしょうか。 ・図書室の本 ・社会科副読本 ・高崎市のホームページ ・少林山達磨寺のホームページ ・達磨製造協同組合のホームページ ・だるま工場見学とインタビュー	25	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、個人で思いつくことを書き出させる。 ◎調べてみたいことを思いつきやすくするために実物のだるまに触れさせる。 ◎「いつ・だれが・どこで・何を・どのように・なぜ」に続けて考えるとよいことを助言する。 ・付箋を順次読み上げながら1枚のシートに張り付けさせるが、発達段階的には自力で分類することは難しいので、分類する観点を記入したシートを利用させながら分類させる。その際に、似たものは近くに貼るように指示する。 ・グループ内で分類する時にしっかりとその根拠をまわりに伝えることを指示する。 ・グループの分類に偏りがあるため、よりよいリーフレットづくりのためには他のグループが出したことを取り入れてよいことを助言する。 ◎今までの教科や総合的な学習での調べ学習の体験を思い出させ、どのような手立てがあったか確かめさせる。(体験してきた手立てを掲示する) ・調べる手立てについては次時からの調べ学習につながるので分類された内容ごとに適した調べ方を全員で確認しながら共有させていく。 ★課題を解決するために適した手立てを複数の中から考えさせ、必要な情報を集めさせる見通しをもたせる学習活動を通して「しらべる力」を伸長させる。(課題対応能力) ◇単元の学習課題「高崎だるまのひみつをさぐりに行こう」に対する学習計画を立て、調べる手立てを考えることができる。(ワークシート)
○学習課題に対する学習計画を立てる。 発問：自分はどのひみつから調べたいですか。調べる順番を考えましょう。 ・これからの計画の見通しを立てるんだな。 ・何から調べ始めようか。 ・やっぱり作り方からかな。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・だるま作りの工程から始まり、だるま作りの歴史を調べていく順番をワークシートに記入させて学習の見通しを立てさせる。 ・だるま職人の工夫や努力、思いや願いについては本やインターネットでも調べることが可能だが、直接聞くことができるならばそちらを優先させることが大事であることを助言して、間近に迫っただるま工場見学への意欲付けを図る。
○本時のまとめをする ・内容によって調べ方をいろいろ選んで調べていけばよいことが分かった。 ・今度のだるま工場見学でよく調べてこようと思った。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習記録カード」の本時の欄に学習記録を記入させ本時を振り返らせる。 ・本時の学習計画が立てられたことを賞賛し、これをもとに次時からの学習(見学を含む)に取り組んでいくよう励ます。

キャリア教育との関わり

本題材では、誰が、どのように使うかなどの目的と美しさを考えながら手ぬぐいに施す装飾のデザインを構想する活動を行う。これは、目的を達成するために課題を分析し、解決の方法を検討する活動であり、課題対応能力の育成につながると思われる。また、デザインを構想したり、追求したりするための手立てとして、描いて構想する方法（アイデアスケッチ）とつくりながら構想する方法（試しの活動）の二つの方法を用いて活動する。これは、課題を解決する手立てとして、手立てを複数検討することや、手立てを組み合わせて改善したりして自分なりに工夫することが大切であることを理解することにつながると思われる。

○本時

(1) ねらい

試しの活動を通して文様の配置や組み合わせをつくりながら構想していくことで、表現を工夫する力や、構想を練り上げる力を高める。

(2) 準備 前時までに制作した印、印台、新聞紙、A4用紙、参考作品、実物投影機

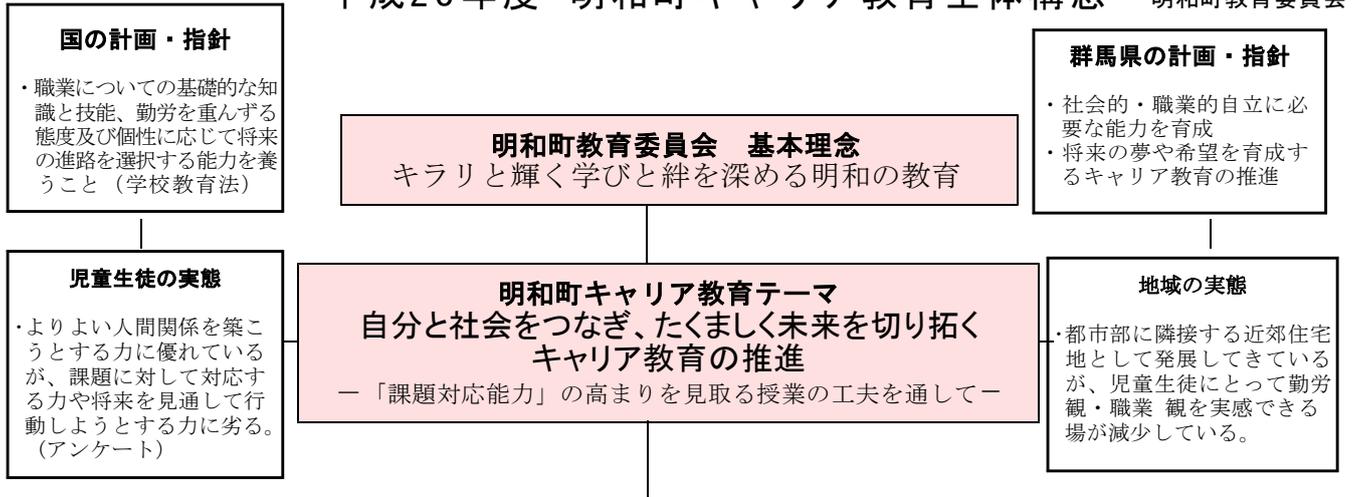
(3) 展開

学習活動 ・予想される生徒反応	時間	指導 形態	指導上の留意点及び支援・評価 ◎努力を要する生徒への支援 ◇評価 ☆キャリア教育の視点から見て特に重要なこと
1 本時の活動とねらいを確認し、授業の見直しをもつとともに、アイデアを構想する手立てを理解する。 ・プリントに描いたアイデアを試作してみよう。 ・印を試し押ししながら、いろいろ考えてみたい。 ・アイデアを考える方法はアイデアスケッチだけではない。色々な方法が考えられる。	5分	一斉	・本時は次時の本制作に向けて試作を行うとともに、文様の構成を追求していくことを「学習の流れ」としてフラッシュカードを用いて示し、活動に見通しを持てるようにする。 ・前時までの内容を振り返りながら、アイデアを構想する手立てとして、描いて構想する方法（アイデアスケッチ）とつくりながら構想する方法（試しの活動）があることやそれぞれの特徴を理解させることで、本時の活動の意図や方法を理解し、表現を追求することができるようにする。 ☆課題を解決する手立てとして、その方法が幾つも考えられることや、手立てを組み合わせて改善したりして自分なりに工夫することが大切であることを掴ませる。（課題対応能力）
2 教師の手本を見て、活動の方法について知る。 ・印の押し方にはバラバラに押すだけでなく、色々な押し方が考えられそうだ。 ・押し方を色々試して、自分だけのデザインを考えたい。	5分	一斉	・教師が活動の手本を示すことで、活動のイメージを持てるようにする。その際、教師の手本が確認できるよう実物投影機を使用して示す。 ・教師の手本を見せながら「不規則に押し」、「並べて押し」、「重ねて押し」などの印の押し方から一例を示すことで、構成の仕方を考えるための参考とすることができるようにする。
3 制作した印を試しながらアイデアスケッチのデザインを試作したり、試作する中で生まれた新たな発想を試したりしてよりよい表現を追求する。 ・友達の手押し方が面白い。参考にしてみよう。 ・色々試していたら偶然面白いデザインが生まれた。このデザインを生かしてみよう。 ・色々試してみたけど、はじめのアイデアスケッチのデザインがイメージに合う。 ・試しながら考えると今まで思い付かなかったアイデアが生まれそうだ。 ・色の組み合わせで迷う。何色使おう。 ・押し方が他に思い付かない。	20分	班別	・1グループに印台を1台配布してグループ活動とすることで、他者の表現をみたり、互いの表現について相談したりする機会が生まれるようにする。これにより、互いの表現のよさを認め合ったり、友人の活動から着想して表し方を工夫したりできるようにする。また、このことを生徒に伝え、指導上の工夫を生徒と共有することで、グループ活動を行う目的を理解できるようにする。 ☆手ぬぐい大の紙を用いた試しの活動を通して、アイデアスケッチのデザインを試作したり、試作する中で生まれた新たな発想を試したりしながら試行錯誤することで、表現を追求できるようにする。 ・机間指導を行いながら表現の工夫について話を聞いたり賞賛したりすることで、表現に自信をもたせたり偶然生まれる表現のよさを味わわせたりして、表現することを楽しめるようにする。 ◎表現が進まない生徒には、机間指導を行いながら友人の作品を参考にさせたり、教師が手本を見せたりして活動を促す。その際、作品のイメージを聞いたり、イメージに合う配置や色彩の組み合わせを友人の作品や教師の手本から見つけさせたりして、自己決定しているようにする。
4 生かしたい表現に付箋を用いて、工夫したことや発見したことを言葉でまとめ、整理するとともに、まとめたことを発表し合い、共有する。 そして、試しの活動をまとめ、構想を練り上げる。 ・文様と文様の間隔を空けて、まばらに並べたところが工夫点だ。 ・色が交互になるように並べたところが工夫点だ。 ・〇〇さんの工夫は思い付かなかった。自分も試してみたい。 ・〇〇さんの工夫と自分が思い付いた並べ方を組み合わせたらイメージに近づいた。	15分	一斉・個別	・試しの活動を通してでき上がった試作品の中に生かしたい表現がある場合には、付箋に生まれたよさや工夫を記させ、試作品に貼らせる。言葉でまとめさせることで表現のよさを明確にしたり、構想を整理してまとめ上げたりすることができるようにする。 ・表現に参考となる工夫が見られる生徒の作品を例示し、発表させることで、よさや工夫を共有し、自分の作品に生かしているようにする。 ・友人の表現を参考としたり、付箋にまとめた内容を振り返ったりしながら、必要に応じてアイデアスケッチを描かせ、構想を練り上げることができるようにする。 ◇☆試しの活動を通して、表現を工夫し、構想を練り上げている。 見取り方としては、描いて構想する方法とつくりながら構想する方法の特徴を理解して使い分けたり、アイデアスケッチや試しの表現として練り上げたりしている様子を、活動の様子やアイデアスケッチ、作品と付箋の記述を突き合わせることで見取る。 （発想や構想の能力）（課題対応能力） 【活動の見取り、アイデアスケッチ、作品と付箋の記述】
4 学習のまとめを行い、学習の成果を共有するとともに、次時に見直しを持つ。	5分	一斉	・ワークシートに本時の学習のまとめをさせるとともに、記入した内容を生徒に語らせることで、学習の成果を実感したり、共有したりできるようにする。 ☆本時の活動を通して学んだ課題解決の手立てや、手立てを工夫したり組み合わせたりしてよりよいものを追求する姿勢は、他教科や実社会に通じる力であることを伝えることで、学習と生活の結び付きや学習の意義を感じることができるようにする。 ・次時の活動内容を確認することで、制作に見直しをもてるようにする。 ・グループごとに協力して片付けに取り組みせる。

《明和地区全体指導計画》

平成28年度 明和町キャリア教育全体構想

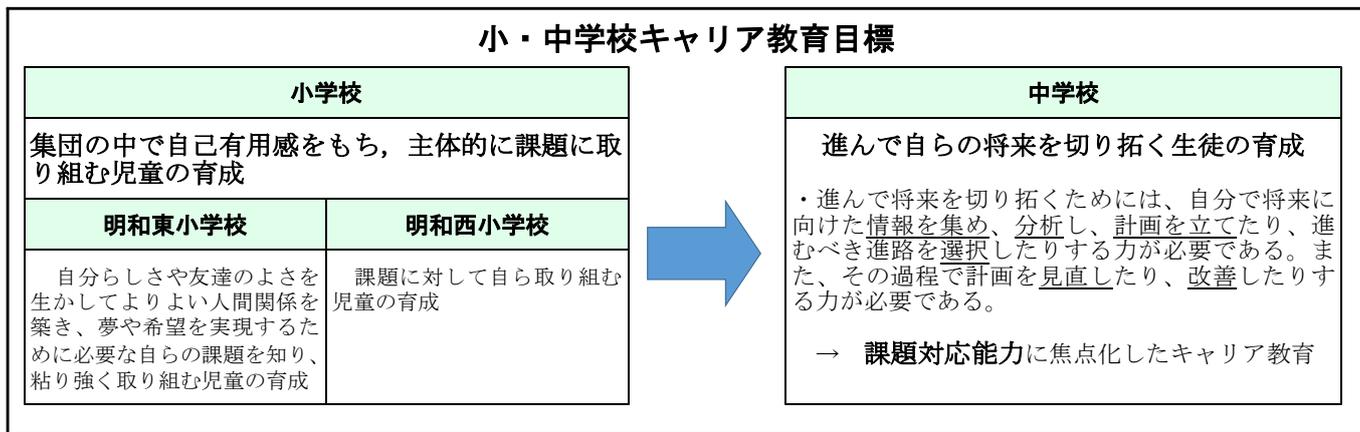
明和町教育委員会



明和町キャリア教育研究仮説

各教科指導の場面において、教科における課題対応能力を具体化して情報活用等の能力を育てるための教科指導の工夫をしたり、他教科・領域との関連性を意識して指導したりすることで、「自分と社会をつなぎ未来を切り拓く」児童生徒を育成することができるであろう。

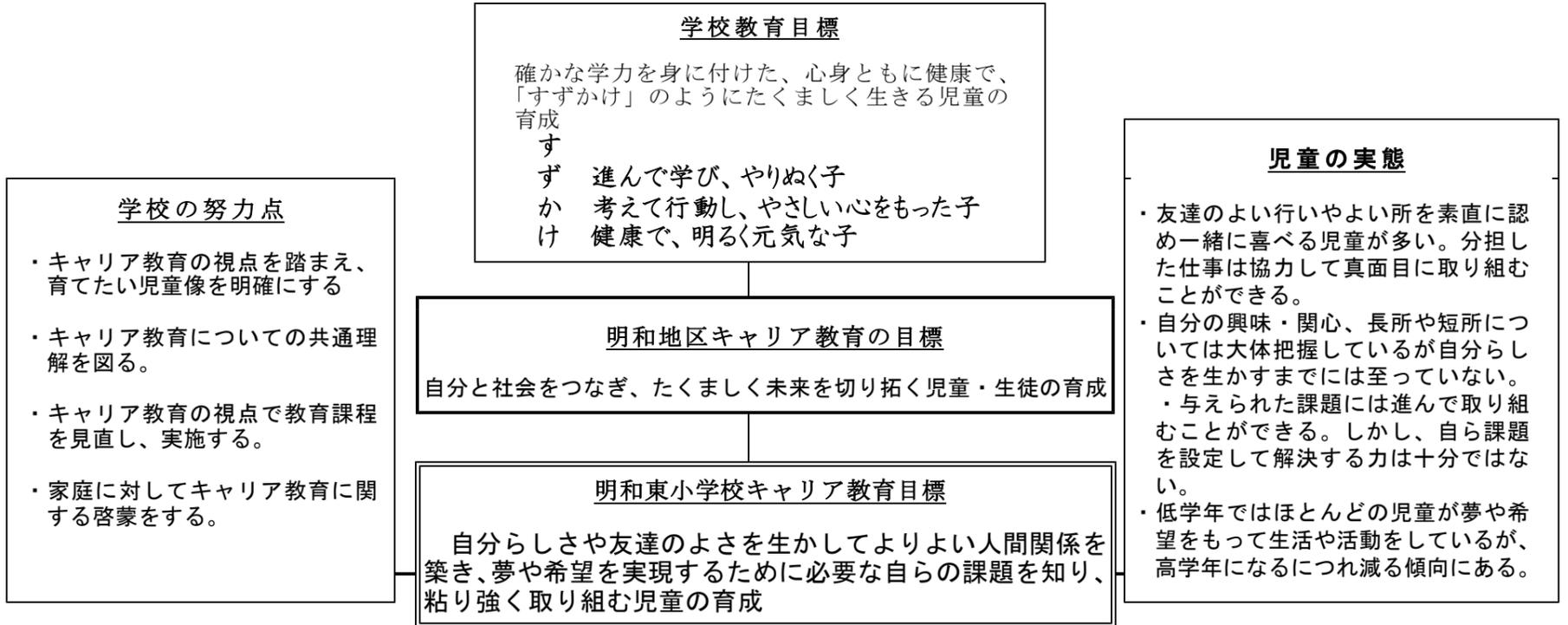
キャリア教育で育成すべき能力(基礎的・汎用的能力)			
<p>人間関係形成・社会形成能力</p> <p>多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力</p>	<p>自己理解・自己管理能力</p> <p>自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力</p>	<p>課題対応能力</p> <p>仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力</p> <p>学習課題に対して解決への見通しをもち、筋道を立てて対応し、導き出した結果を表現できる力</p>	<p>キャリアプランニング能力</p> <p>「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえ「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力</p>



発達段階に応じた組織的・計画的・継続的な明和町キャリア教育の推進

○キャリア教育の視点に基づく地域の役割

- ・キャリア教育を総合的に推進するための縦(小・中)と横(地域)の連携の機能をもった組織の編成
- ・「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の視点から児童生徒の実態調査及び実態の把握
- ・児童生徒の発達段階に応じ、義務教育9年間を見通すとともに、家庭、地域、学年・学校種間・教科間の連携した全体計画の作成と校内での連携・推進体制の確立へ向けての支援・調整
- ・「基礎的・汎用的能力」の4能力の視点から、児童生徒の実態に応じて身に付けさせたい力等を明確にし、各学校の教育活動の中にあるキャリア教育の宝をつなげる年間指導計画の作成への支援
- ・社会的・職業的自立を目指し、将来へ向けて課題に主体的に対応できる力を育成する授業構想



	第1・2学年 指導目標 みんなとたすけあい、なかよくしよう	第3・4学年 指導目標 友達のよさをみとめながら、協力して活動しよう	第5・6学年 指導目標 失敗を恐れず挑戦し、夢や希望を広げよう
人間社会関係形成能力	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良く遊び、親切にする。 ・お世話になった人などに感謝する。 ・あいさつや返事をする。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言う。 ・自分の考えや思いをみんなの前で話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を支えている人に感謝する。 ・自分の意見や気持ちをわかりやすく表現する。 ・友達の気持ちや考えを理解しようとする。 ・友達と協力して励まし合いながら、学習や生活に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え、行動しようとする。 ・異学年集団の活動においてリーダーシップを発揮し、自らの役割と責任を果たそうとする。 ・話し合いに積極的に参加し、自分の異なる意見も理解しようとする。
自己理解能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意なことが分かる。 ・自分の好きなもの、大事なものをもつ。 ・自分の好きなことや苦手なことを伝えられる。 ・学校で「してよいこと」と「しては悪いこと」が分かり、よいことを進んで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の長所、短所が分かり、長所を伸ばそうとする。 ・自分で決めたことはあきらめず、粘り強く取り組む。 ・正しいと判断したことは勇気をもって行い、間違いは素直に認めて改めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の長所を伸ばし、短所を改善しようとする。 ・自分なりの根拠をもって、自己決定し、粘り強く行動することができる。 ・より高い目標を持ち、何事にも努力する。
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・関心をもって課題に取り組む。(みとおす力) ・分からないことを調べたり、質問したりして最後までやりぬく。(しらべる力) ・自分と友達の考えのよさや違いに気付く。(いかす力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって課題に取り組む。(みとおす力) ・分からないことを調べたり質問をしたりして粘り強く課題を解決する。(しらべる力) ・調べたことや話し合ったことをもとに課題を解決する。(いかす力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方を改善する。(みとおす力) ・何が必要なのか考えながら、いろいろな方法で情報を収集する。(しらべる力) ・収集した情報や友達と交流したことを生かして、自らの課題を解決する。(いかす力)
キャリア能力	<ul style="list-style-type: none"> ・あこがれの仕事をもつ。 ・学校探検や町探検などを通して、身近で働く人々の様子がわかり、興味や関心をもつ。 ・学級の係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。 ・自分のやりたいこと、よいと思うことに取り組む。 ・家で進んで手伝いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や希望をもつ。 ・身近で働く人々の仕事やいろいろな職業に興味や関心をもつ。 ・役割や役割分担の必要性が分かり、係や当番活動に積極的にかわり、働くことの楽しさが分かる。 ・家で自分の役割をもち、進んで手伝いをする。 ・学んだり体験したりしたことと生活や職業との関連を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する職業や将来に向けた目標をもち、その実現に向けて、やるべき事を考える。 ・身近な産業・職業の様子が分かるとともに、各種の職業に対して興味や関心をもつ。 ・係や委員会活動に意欲的に取り組み、社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・家庭で自分に任された仕事を果たし、自分でできる仕事を進んで行う。 ・学んだり体験したりしたことと生活や職業との関連を考える。

教科等におけるキャリア教育の指導内容						
各教科	道徳	特別活動			総合的な学習の時間(すずかけの時間)	英語
		学級活動	学校行事	児童会・委員会・クラブ		
<ul style="list-style-type: none"> ○学ぶことの意味の理解と、意欲的な学習態度の育成 ○基礎的・基本的な内容の定着 ○ペアやグループ活動など交流での学び合う態度の育成 ○生活を支える身の回りの人々の仕事や役割の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣や善悪の判断、社会生活上のルール ○自主性、協力し合い、助け合う態度 ○生活を支える人々の役割の理解と責任感 ○働くことの意義の理解と責任感 ○目標に向かい主体的に努力する態度や希望をもって生きる心 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の形成 ○希望や目標をもって生きる態度の形成 ○望ましい人間関係の育成 ○生活上の諸問題の実践的な解決能力 ○生活を支える役割の理解、責任の遂行 ○主体的なコミュニケーション活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標の実現に向けた努力の蓄積と充実感 ○団体生活を支える役割分担 ○労働や活動の尊さ、喜びの感得 ○集団行動における望ましい態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○集団活動を支える組織や役割の理解 ○役割や責任を果たす意義と充実感 ○異年齢間の交流 ○自己の興味・関心の追求 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力 ○主体的、創造的な活動 ○自己のよりよい生き方を考える場 ○自然体験、社会体験、観察・実験、見学等の体験的学習、課題解決的学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語を用いたコミュニケーション能力の育成 ○日本と外国の言語や文化の体験的理解

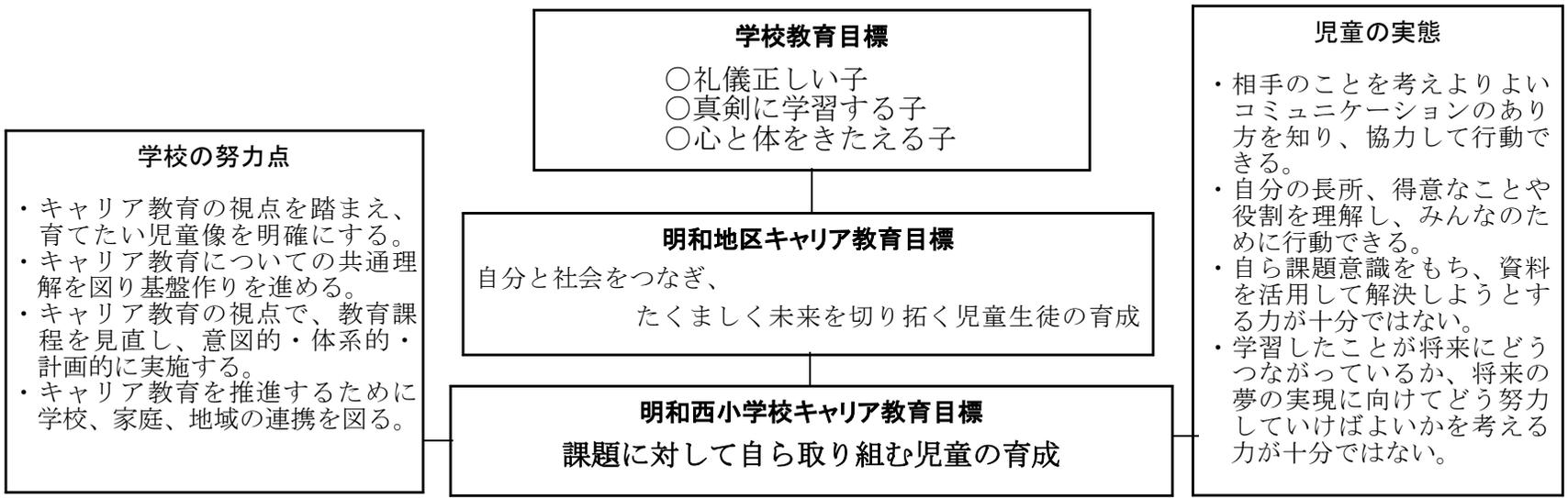
キャリア教育推進のための基盤					
学年・学級経営の充実	生徒指導の機能を生かす基本的な生活習慣の定着	キャリア教育についての共通理解	PTA及び地域との連携	地域素材や人材を生かす体験活動の充実	明和こども園、中学校との連携

《明和町立明和東小学校 4年 年間指導計画》

- 1 目標
自分らしさや友達のよさを生かしてよりよい人間関係を築き、夢や希望を実現するために必要な自らの課題を知り、粘り強く取り組む児童の育成。
- 2 中学年の目標
友達のよさをみとめながら、協力して活動しよう
- 3 キャリア発達に関わる基礎的・汎用的能力
 ①人間関係形成・社会形成能力
 ②自己理解・自己管理能力
 ③課題対応能力
 ④キャリアプランニング能力
- 自分のよさや友達のよさを認め合い、協力して活動する態度を育てる。
 ○自分の長所を伸ばそうとし、自分で決めたことは粘り強く取り組もうとする。
 ○分からないことを調べたり質問したりして自分の力で課題を解決しようとする。
 ○身の回りの仕事について知り、現在の学習内容が将来とどのように関係していくのかに気付く。

※ 太字は課題対応能力に特に関わる単元

月	4	5	6	7	8・9	10	11	12	1	2	3
行事	1年生を迎える会①	修学旅行①②			運動会①②		持久走大会②	人権週間②		6年生を送る会①	卒業式④
学級活動	◇4年生になって③4年生の自覚をたかめるようにする。 ◇係を決めよう ①学級生活を楽しくするような係を決め、仲良く活動できるようにする。	◇楽しい修学旅行①③目的を考え、3年生をリードしてみんなで楽しい旅行ができるようにする。	◇清潔で楽しい給食 ④みんなで協力してすみやかに給食の準備を行い、マナーを守り楽しく食事ができるようにする。	◇夏休みの計画を立てよう ②安全で楽しく有意義な夏休みの計画が立てられるようにする。	◇2学期の目標と係③④1学期の反省をもとに2学期の生活や学習のめあてを立て、係を決められるようにする。	◇持久走大会に向けて③自分の目標を考え、大会に向けて練習計画を立て、練習に励む。	◇家庭学習のしかたを考えよう ②家庭学習が自主的にすすめられるようにする。	◇冬休みの過ごし方 ③年末年始の過ごし方を考え、家庭に合った冬休みの計画を立てる。	◇3学期の目標と係③④1年のしめくくりであることを意識しためあてを立て、実践できるようにする。	◇6年生を送る会に向けて①③お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える。	◇1年間を振り返って ②1年間を振り返って、自分たちのがんばりや成長を確認し、喜び合えるようにする。
道徳	エジソンとえいじ（基本的な生活習慣） ②よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする。	えがおであいさつ（礼儀） ①礼儀の大切さを知り、真心を込めて人と接しようとする態度を養う。	あこがれのアナウンサー（個性伸長） ④自分の特徴に気付き、よいところを伸ばそうとする心情を育てる。	おばあさんのおむかえ（家族愛） ①父母、祖父母を敬愛し、協力し合って楽しい家庭をつくろうとする心情を育てる。	フィンガーボール（親切） ①相手のことを思いやり進んで親切にしようとする態度を養う。	チューリップの球根（勤労） ④働くことの大切さを知り、進んで家族みんなのために働こうとする態度を養う。	けんじのわすれもの（規則の尊重・公德心） ②公共のきまりを守り、気持ちよく生活しようとする心情を育てる。	なんとなく（友情） ①友達と互いに理解し合い、助け合おうとする態度を養う。	よわむし太郎（勇気） ②正しいと判断したことは、勇気をもって行おうとする意欲を養う。	だやし屋のおばあちゃん（親切） ①相手のことを思いやり進んで親切にしようとする態度を養う。	お魚大好き、さかなクン（個性伸長） ②自分の特徴に気付き、よいところを伸ばそうとする心情を育てる。
教科	英語 「英語であいさつをしよう」 ①友達の名前や気持ちを探ねたり自分のことを答えたりしながら挨拶の会話を楽しむ。 総合 「明和町の環境について調べよう」 ③明和町の環境を守るために行われていることを調べ、自分たちにもできることを考え実行する。	国語 「話し合いのしかたについて考えよう」 ①司会などの役割を理解し、目的に向かって、共通点や相違点を考えながら話し合うことができる。 社会 「住みよい暮らしをつくる（ごみ）」 ③ごみの始末のしかたを理解する。	体育 「キャッチバレーボール」 ①②ルールや攻め方、守り方を工夫して、キャッチバレーボールをする。 社会 「住みよい暮らしをつくる（水）」 ③④町の水を供給する浄水場の仕事や働く人を知る 音楽 「いろんな木の実」 ①リズム伴奏の面白さを感じながら拍の流れの流れて友達と合わせて打楽器を演奏する。	国語 「新聞のとくちょうと作り方を知ろう」 ③新聞の特徴と作り方を知り、記事にすることを決めて、伝えたいことが明確になるように文章を書く。 理科 「夏と生き物」 ③夏の動植物の活動や成長を調べ、見出した問題を興味関心を持って追求する。	国語 「だれもが関わり合えるように」 ③課題を設定し、課題を解決するための情報を集めて、要点をメモする。 総合 「家族の仕事を調べよう」 ④家族の仕事を調べて理解を深める。	国語 「スポーツリーフレットを作ろう」 ③説明のしかたを工夫し、分かりやすく伝える文章を書く。 体育 「マット運動」 ①③グループでそれぞれの技を見合い、よさを認め合う。 英語 「英語発表会にむけて練習しよう」 ②自分のことを英語で友達に発表する。 総合 「家族の仕事を調べよう」 ④家族の仕事を調べて理解を深める。	国語 「クラブ活動リーフレットを作ろう」 ③読み手が理解しやすいような写真を用いて文章を書く。 算数 「広さを調べよう」 ③面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求め、面積についての量感を豊かにする。 総合 「自分になりたい職業を調べよう」 ④なりたい仕事を調べて理解を深める。	社会 「調べてみようわたしたちの群馬県」 ④県内における明和町、日本における群馬県について、位置・産業・地域の特徴を考える。 社会 「安全なくらしを守る」 ④家事や交通事故から人々の安全を守るための様々な工夫や努力について考える。 保健 「体の発育のしかた」 ④自分の体のことを知って、それぞれの発育の仕方について考える。	社会 「調べてまとめて、読み合おう」 ③書くことを決めて必要な事柄を調べ、必要に応じて要約や引用をしながら文章を書くことができる。 保健 「思春期の体の変化」 ④自分の体のことを知って、大人の体への変化や、男女の違いについて考える。	図工 「ハッピーカード」 ①はがきに絵を描いたり、カードを作ったりし、友達や人と楽しく関わる。 保健 「よりよい発育」 ④自分の体のことを知って、発育に必要な食事や運動、休養について考える。	



	第1・2学年 指導目標 みんなとたすけあい、なかよくしよう	第3・4学年 指導目標 自分のよさ・友達のよさを認め、協力して活動しよう	第5・6学年 指導目標 自分の役割を知り、将来に向けて夢や希望を広げよう
人間関係形成能力 (かかわる力)	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲良く遊び、親切にすることができる。 お世話になった人などに感謝することができる。 あいさつや返事をすることができる。 「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言うことができる。 自分の考えや思いをみんなの前で話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達のよいところを認め、励まし合うことができる。 自分の生活を支えている人に感謝することができる。 自分の考えをみんなの前で発表することができる。 友達の気持ちや考えを理解しようとするすることができる。 友達と協力して学習や活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解することができる。 思いやりの気持ちをもち、相手の立場に立って考え、行動することができる。 異学年集団の活動に進んで参加して、自らの役割と責任を果たすことができる。
自己理解・自己管理能力 (見つめる力)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の得意なことが分かり、好きなことや苦手なことをはっきりと言うことができる。 自分の好きな物、大切な物をもつことができる。 学校で「してよいこと」「しては悪いこと」が分かり、よいと思うことを進んで行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の長所、短所が分かり、長所を伸ばすことができる。 自分で決めたことはあきらめず、粘り強く取り組むことができる。 正しいと判断したことは勇気をもって行い、間違いは素直に認めて改めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の長所を伸ばし、短所を改善することができる。 自分なりの根拠をもって自己決定し、行動することができる。 より高い目標をもち、何事にも努力することができる。
課題対応能力 (やりぬく力)	<ul style="list-style-type: none"> 関心をもって課題に取り組むことができる。(みとおす力) 分からないことを調べたり、質問したりして最後までやりぬくことができる。(しらべる力) 自分と友達の考えのよさや違いに気づくことができる。(いかす力) 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって課題に取り組むことができる。(みとおす力) 分からないことを調べたり、質問したりして粘り強く課題を解決することができる。(しらべる力) 調べたことや話し合ったことをもとに課題を解決できる。(いかす力) 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方を改善したりできる。(みとおす力) 何が必要なのか考えながら、いろいろな方法で情報を収集できる。(しらべる力) 収集した情報や友達と交流したことを生かして、自らの課題を解決できる。(いかす力)
キャリアプランニング能力 (かなえる力)	<ul style="list-style-type: none"> あこがれの仕事をもつことができる。 家の手伝いや学級の係、当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。 学校探検や町探検などを通して、身近で働く人々の様子が分かり、その仕事に興味や関心をもつことができる。 自分のやりたいこと、よいと思うことに取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな職業や生き方が分かる。 係や当番活動に積極的に関わり、働くことの楽しさが分かる。 互いの役割や役割分担の必要性が分かる。 日常生活や学習と将来の生き方の関係を考えることができる。 将来の夢や希望をもつことができる。 家で進んで手伝いをするすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な産業、職業の様子やその変化が分かる。 係や委員会活動に意欲的に取り組み、社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 学んだり体験したりしたことで生活や職業との関連をえることができる。 希望する職業や目標をもち、その実現に向けてやるべき事を考えることができる。 家で自分の役割を果たすことができる。

教科等におけるキャリア教育の指導内容						
<p>各教科</p> <ul style="list-style-type: none"> 学ぶことの意味の理解と、意欲的な学習態度の育成 基礎的、基本的な内容の定着 グループ活動等での学び合う態度の育成 生活を支える身の回りの人々の仕事や役割の理解 	<p>道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣や善悪の判断、社会生活上のルール 目標に向かい主体的に努力する態度や希望をもって生きる心 自主性、協力し合い助け合う態度 生活を支える人々の役割の理解と責任感 働くことの意義の理解と責任感 	<p>学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の形成 希望や目標をもって生きる態度の形成 望ましい人間関係の育成 生活上の諸問題の実践的な解決能力 生活を支える役割の理解、責任の遂行 主体的なコミュニケーション活動 	<p>学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標の実現に向けた努力の蓄積と充実感 集団生活を支える役割分担 労働や生活活動の尊さ喜びの感得 集団行動における望ましい態度の育成 	<p>児童会・委員会・クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団行動を支える組織や役割の理解 役割や責任を果たす意義と充実感 異年齢間の交流 自己の興味、関心の追求 	<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら学び、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力 主体的、創造的な活動 自己のよりよい生き方を考える場 自然体験、社会体験、観察・実験、見学等の体験的学習、課題解決的学習 	<p>英語科</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語を用いたコミュニケーション能力の育成 日本と外国の言語や文化の体験的な理解

キャリア教育推進のための基盤					
学年・学級経営の充実	生徒指導の機能を生かした基本的生活習慣の定着	キャリア教育についての共通理解	PTA及び地域と連携	地域の教育力を生かした体験活動の充実	こども園、中学校との連携

《明和町立明和西小学校 4年 年間指導計画》

1 明和西小学校キャリア教育目標

課題に対して自ら取り組む児童の育成

2 中学年の目標

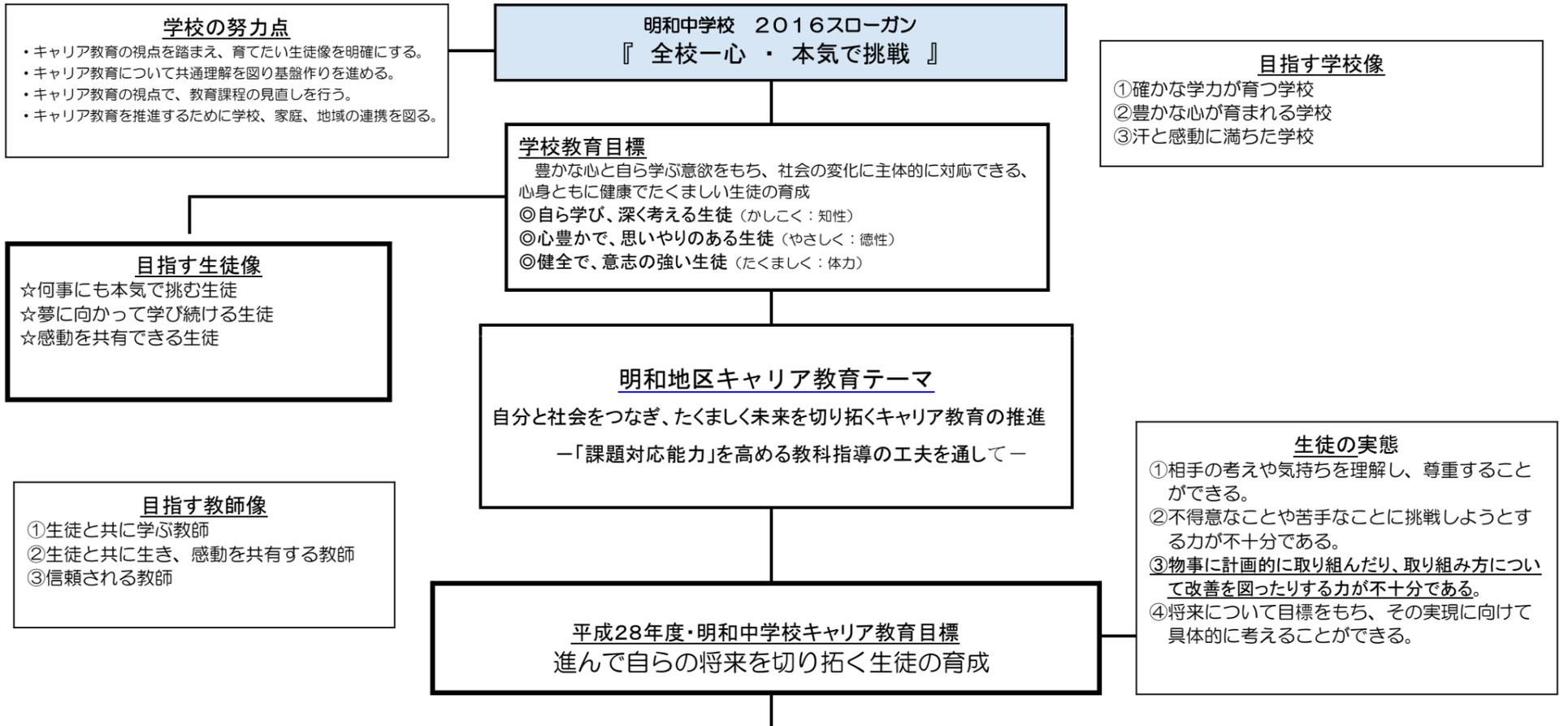
自分のよさ・友達のよさを認め、協力して活動しよう

3 キャリア発達に関わる基礎的・汎用的能力

- ①人間関係形成・社会形成能力・・・・・・・・自分のよさや友達のよさを認め合い、友達と協力して学習や活動に取り組むことができる。
- ②自己理解・自己管理能力・・・・・・・・自分の長所を伸ばそうとし、自分で決めたことは粘り強く取り組むことができる。
- ③課題対応能力・・・・・・・・分からないことを調べたり質問したりして、自分の力で課題を解決することができる。
- ④キャリアプランニング能力・・・・・・・・世の中の仕事について知り、日常の生活や学習と将来の生き方の関係を考えることができる。

※太字は課題対応能力に関わる単元

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
行事	1年生を迎える会①	社会科見学①④			運動会③	修学旅行①	持久走大会②	感謝の集い①④		6年生を送る会①	卒業式④
学級活動	4年生になって②4年生としての役割を自覚し、意欲をもった学校生活を送ることができる。	学習の仕方を考えよう ③学習の意義について考え、自主勉強の取り組み方について考える。	心の成長 ①男女は互いに思いやる心をもって協力し合うことが大切なことを理解する。	1学期を振り返ろう ②1学期を反省することにより、より高い目標を目指すことができる。	運動会に向けて③よりよい運動会に向けてどんな気持ちで練習に臨むのかを考え、実践することができる。	好き嫌いをなくそう ②成長していくためには好き嫌いをせず、いろいろな食品を摂取する必要があることを知る。	本をたくさん読もう ②読書に最適な時期に読書意欲の向上を図る。	お楽しみ会をしよう ①みんなで協力して楽しい会を行えるように心がけることができる。	3学期の目標を考えよう ②3学期を迎え、新たな目標を立てて学習に取り組めるようにする。	2分の一成人式に向けて ④将来の夢や感謝の気持ちを保護者に伝え、10才の成長を保護者に伝えられるようにする。	一年間振り返ろう ①②一年間を振り返り、成長できた自分と友達を称賛する。
道徳	貝がら（友情） ①友達と互いに理解し、信頼し助け合おうとする態度を養う。	えがおであいさつ（礼儀） ①礼儀の大切さを知り、真心を込めて人と接しようとする態度を養う。	あこがれのアナウンサー（個性伸長） ②自分の特徴に気付き、よい所を伸ばそうとする態度を育てる。	雨のバス停で（規則尊重） ②社会のきまりや規則の必要なわけを知り、進んで守ろうとする態度を養う。	「正直」五十円分（正直誠実・明朗） ②良心の声に従い、正直で誠実な行動をし、明るく元気よく生活する態度を養う。	チューリップの球根（勤労） ④働くことの大切さに気付き、進んで働くこととする態度を養う。	パングラディッシュから来たシャボン君（国際理解） ②外国の文化に関心をもって、外国の人々に親しもうとする態度を養う。	なんとなく（友情） ①友達と互いに理解し、信頼し助け合おうとする心情を育てる。	運動オンチのオリンピック（勇気） ②正しいことは迷わないで、勇気をもって行動しようとする心情を育てる。	どうしたらよいか考えて（基本的な生活習慣） ②自分の健康について、どうしたらよいか考えて生活しようとする心情を育てる。	失敗に負けないで（勤勉努力） ②自分でやろうと決めたことは、最後まで粘り強くやり遂げようと思う心情を育てる。
教科	社会 「水はどこから」 ④安全な水を供給するしくみについて調べ、水道の仕事に関わる様々な人々の工夫や努力、地域の人々の協力について考える。	国語 「興味をもったところを発表しよう」 ③ グループ内での話し合いを通して、課題に対する自分なりの答えをもつことができる。	社会 「ごみの処理と利用」 ④ごみ処理やリサイクルの仕組みやその仕事に携わる人々の努力について知り、自分たちにできることを考える。	国語 「組み立てを考えて書こう」 ③ 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を書くことができる。	社会 「昔の暮らし」 ④明和町の人々が水害に悩まされてきたことを知り、昔の人々の暮らしを守るための努力や工夫について考える。	社会 「伝統を受け継ぐ」 ③ 高崎市のだるま作りについて自ら課題をもち、様々な資料を活用して調べ、まとめることができる。	社会 「のこしたいもの伝えたいもの」 ④文化財や年中行事に関心をもち、人々の願いについて考えるとともに、地域への誇りと愛情をもつことができる。	音楽 「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」 ①楽器の音の特徴や旋律の特徴を感じながら、互いの楽器の音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する。	国語 「野原に集まれ」 ①書いた詩を読み合い、表現のよさなどについて交流することができる。	保健 「育ちゆく体とわたし」 ①思春期になると体の変化があらわれること、体の発育のしかたには、個人差があることを理解する。	国語 「十年後のわたしへ」 ④十年後の自分の姿を想像し、手紙を書くことで現在と将来の関わりについて考えを深める。
総合的な学習	「環境や地域について調べてみよう」（ゴミを減らす方法） ③身近な環境について社会科と関連して調べる。	③環境について資料を集め、さらに詳しく調べたい課題を設定する。		→ 「地域について調べてみよう」（明和町の歴史や伝統） ③学校の周りにある文化施設や文化財、歴史について調べる。		③調べ方やまとめ方の方法を考え、目的にあった計画を立てる。	②明和町の歴史や文化財の由来、様子について粘り強く調査をする。	④調べたことをまとめ、学年や保護者に向けて発表する。	→ 「クラブ活動の楽しさを3年生に伝えよう」 ③ クラブ活動を振り返り、3年生にわかりやすく伝える方法を考える。	①伝える内容をまとめ、伝える相手を意識して発表の用意をする。	



	第1学年 指導目標 人に優しく、自信をもって、よく考えて行動しよう	第2学年 指導目標 手を取り合い、夢に向かって行動しよう	第3学年 指導目標 調べ、考え、自分らしい生き方を実現しよう
社会形成能力 人間関係形成	<ul style="list-style-type: none"> 自分の個性を理解させ、自己と他者の違いに気付かせ、尊重しようとする態度を養う。 新しい環境や人間関係に適応する。 人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの言動が相手や他者に及ぼす影響を理解する。 体験活動などを通して、社会生活への見識を広め、人間関係を築く力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のよさや個性だけでなく、他者のよさや個性、感情を理解し、尊重する態度を養う。 他者に働きかけ、積極的に人間関係を築く力を高める。
自己管理能力 自己理解	<ul style="list-style-type: none"> 中学生としての自覚や社会集団の一員としての自覚をもたせる。 よりよい集団活動のための自分の役割や関わり方について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会における様々な役割を理解する。 社会の一員としての自覚をもち、自分の生き方や役割について考える力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来に目標をもち、成長のために主体的に行動する力を身に付ける。 社会と自己の関わりから自分らしい生き方について考える力を身に付ける。
課題対応能力	<ul style="list-style-type: none"> 情報を適切に理解・選択・処理し、計画的に課題に取り組むことの大切さを理解する。 学習や選択の過程を振り返り、次の場面に生かそうとする態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路選択に向けて、必要となる情報を収集する方法や情報を適切に処理する方法を身に付ける。 自己の課題を発見し、課題の解決や改善に向けて計画的に課題に取り組む態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報・知識を適切に処理し、計画的に取り組み、自己の課題を解決する力を身に付ける。 産業や経済の変化に伴う職業や仕事の変化について理解し、職業観・勤労観を形成する。
キャリアプランニング 能力	<ul style="list-style-type: none"> 身近な職業について知り、働くことの意義を考え、進路を考える基礎をつくる。 将来の夢や職業を思い描き、相応しい職業への関心を高める。 学習の必要性や大切さを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢を大切にしながら、自らの課題を見いだしていくことの大切さを理解する。 様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の目標と結び付けて考える態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路の具体的な情報・知識を活用しながら、責任をもって自らの進路を選択する。 自己の個性や興味・関心に基づいてよりよい進路選択をしようとする態度を養う。

教科等におけるキャリア教育の指導内容

各教科	道徳	特別活動			総合的な学習の時間	その他の教育活動
		学級活動	学校行事	生徒会活動		
<ul style="list-style-type: none"> 学ぶことの意味の理解と意欲的な学習態度の育成 基礎的・基本的な内容の定着 思考力、判断力、表現力の育成 日常生活や職業、将来の実社会のかかわり 	<ul style="list-style-type: none"> 人との関わり大切に、互いに認め合い、生かし合う関係をつくろうとする心情や判断力の育成 勤労の尊さや意義の理解 公共の福祉と社会発展に勤める態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい人間関係の確立、集団生活の向上 組織づくり、役割分担 学ぶことや働くことの意義の理解 主体的な進路選択と将来設計 	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活を支える役割分担の理解 労働や生活活動の尊さ、喜びの感得 集団行動における望ましい態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい学校生活の創造 異年齢間の交流 ボランティア活動 計画、立案、運営 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学び、考え、判断し、問題を解決する資質や能力 主体的、創造的な活動 協同的な活動 自然体験、社会体験、体験的学習、課題解決学習 	<ul style="list-style-type: none"> 係活動、清掃活動 給食当番 部活動 異年齢集団活動 ボランティア活動 体験活動

キャリア教育推進のための基盤

・学年、学級経営の充実	・生徒指導の機能を生かした基本的な生活習慣の定着	・キャリア教育の共通理解	・PTA及び地域との連携	・地域教育力を生かした体験活動の充実	・こども園、東西小学校との連携
-------------	--------------------------	--------------	--------------	--------------------	-----------------

